



みなさん、こんにちは。

今日は、業務紹介第5弾として、鉄道分野の業務内容を、鉄道局国際課井野主査（入省4年目）より語ってもらいました！



井野主査（入省4年目）

1. 鉄道分野の国交省における役割を教えてください。

鉄道は、線路や高架橋等の土木施設、信号保安設備や変電所等の電気施設、機関車や電車等の車両といったハードウェアと、列車の運転取り扱い等のソフトウェアとが一体となった総合システムです。鉄道の安全確保や技術基準の制定、技術開発、整備新幹線の整備といった人々の生活の基礎となる業務や、鉄道分野に関する国際協力などを行っています。

2. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

日本の鉄道の海外展開を推進しています。日本の鉄道システムは、安全性、信頼性、省エネルギー性、環境性能等の面で優れており、特に、平成26年（2014年）に開業50周年を迎えた新幹線は各国から高い注目を集めています。こうした日本の優れた鉄道システムの海外展開を積極的に進めることは、海外の需要をとりこむことにより、日本の力強い経済成長につながります。また、都市化への対応や環境問題への対応等を目的に多くの国が鉄道整備を検討・推進する中で、日本の鉄道への期待が高まっており、それに応えることで、相手国の経済・社会の発展に寄与し、二国間関係を強化することに加え、地球環境問題にも貢献することができます。さらには、海外での市場競争を通じ、技術力やコスト競争力を向上させていくことは、日本鉄道産業の維持発展の観点からも重要です。

私は上記の業務の中でも、特にインド高速鉄道プロジェクトを担当しています。インド高速鉄道は、インドのムンバイとアーメダバードをつなぐ約500kmの高速鉄道計画で、日本の新幹線の技術を導入することが決まっています。本プロジェクトの着実な推進に向けて、関係者との協議、調整等の業務に取り組んでいます。



3. 苦労する点や、やりがいについて教えてください。

海外でのプロジェクトなので、出張が伴う相手国との協議に向けて作業が集中する時期もあり、相手国との文化の違いを感じることもありますが、「インドに500kmの高速鉄道を建設する」という大きなプロジェクトを着実に進めているというところにやりがいを感じています。

4. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

国土交通省は安全安心の生活に関わる業務から、新しい技術の開発に向けた業務、国際業務など様々なフィールドがあります。国土交通省に少しでも興味を持たれた方は是非、採用関係のイベントに参加してみてください。一緒に働ける日を楽しみにしています。



インド高速鉄道起工式典の様子（左）と、同日に行われた日印首脳会談の通行証（右）